

開催実施要項

- 1 大会名 令和5年度福岡県高等学校総合体育大会柔道選手権大会北部ブロック予選会
兼 第72回全国高等学校総合体育大会県予選北部ブロック予選会
兼 第73回全九州高等学校体育大会県予選北部ブロック予選会
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟・福岡県教育委員会
- 3 後援 北九州市、北九州市教育委員会、北九州柔道会、西日本新聞社
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟北部ブロック柔道専門部
- 5 期日 競技 令和5年5月13日(土) 9:45～女子開始式
受付: 8:15～8:45
*女子団体戦終了後、男子団体戦を実施する
*個人試合の計量は、受付後実施する。(＋1kg迄認める)
令和5年5月14日(日) 9:45～女子開始式
受付: 8:15～8:45
*女子個人戦終了後、男子個人戦を実施する。
- 6 会場 「北九州市立若松武道場」北九州市若松区古前1丁目1-2 TEL 093-771-3422
- 7 競技規則 (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定ならびに福岡県高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
(2) 試合時間はすべて3分とする。
ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
(3) 「優勢勝ち」の判定基準
① 団体試合は「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
② 個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝負を決する。
(4) 個人試合において、「同時反則負け」の場合は、次の試合の出場者はゴールデンスコア(時間無制限)で決める。
(5) 絞技及び関節技においては、その効果が認められた時は、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。
- 8 競技方法 (1) 団体試合は男女ともトーナメント戦とする。(点取り試合)
① トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
ア 判定基準
*選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「技あり」または「僅差」以上とする。
*「僅差」は指導差2とする。
イ 「技の内容」と「指導」の重み
*【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差】の順とする。
ウ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定;以下の項目に従って勝敗を決定する。
(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
(ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
(エ) (ウ)で同等の場合は、代表戦を行う。
*代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
*代表戦における、優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。ただし、勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
(2) 個人試合は男女ともトーナメント戦とする。
①判定基準は団体戦に準ずる。
(3) 団体試合において一度退いた者の再出場は認めない。申し込み後に病気・負傷・その他やむを得ぬ事情で出場できない者が生じた場合は、受付時に専門委員会に選手変更届けを提出し、許可を得ること。

9 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

10 監督の役割

- (1) 監督は自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。
- (2) 監督の行為・言動
 - ① 試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、指示を与えることが出来る。
 - ② 次の行為を禁止する。
 - ア 試合が続行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。
 - イ 対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。

(3) 罰則規定

- ① 1回目は審判員が合議の上、口頭により「警告」を与える。
- ② 2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に布告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。
※次の試合（対戦校）からは、監督席に座ることはできるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席に座ることを認めない。

11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。
- (3) 全日本柔道連盟に登録された者（チーム）であること。
- (4) 年齢は、2004年（平成16年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし、一家転住等やむを得ない事由による場合は、柔道専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りでない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (10) 参加資格の特例
 - ア 上記（1）（2）に定める生徒以外、（3）～（10）の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記（4）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。
 - ウ 学年の区分が設けてある課程に在籍する生徒は、3学年までとする。
- (11) 脳震盪について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
 - ア 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (12) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

- 12 参加制限
- (1) 男子団体試合のチーム構成は選手5名・補欠2名・監督1名の8名とする。
 - (2) 男子団体エントリーについては、3人もしくは4人でも認める。ただし、その際、選手の配列は後詰めとする。女子については、変更なし。
 - (3) 女子団体試合のチーム構成は選手3名・補欠1名・監督1名の5名とする。
 - (4) 男子個人試合は、次の7階級に分けて試合を行う。(各階級4名までの出場とする)
 ①60kg級 ②66kg級 ③73kg級 ④81kg級 ⑤90kg級
 ⑥100kg級 ⑦100kg超級
 - (5) 女子個人試合は、次の7階級に分けて試合を行う。(各階級4名までの出場とする)
 ①48kg級 ②52kg級 ③57kg級 ④63kg級 ⑤70kg級
 ⑥78kg級 ⑦78kg超級
 - (6) 男女団体試合の外国人のチーム人員は1名以内とする。個人試合は参加制限を設けない。

- 13 参加申込
- (1) **参加申し込みに記載される生徒個人情報について**
 利用目的等 ・大会競技プログラムまたは福岡県高等学校体育連盟ホームページへの記載
 ・参加資格の確認(年齢・転校等)
 ・競技成績については、学校名・氏名・成績(記録)のみ公表する事とする。

参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記の取り扱いする旨の承諾を得たものとする。

- (2) 申込先 〒803-0828 北九州市小倉北区愛宕2-8-1 Tel. 093-592-3901
小倉高等学校 永塚 武夫 宛

Mail nagatuka@fku.ed.jp

※1 メールにて、参加申込書のみの提出(メールの2通目に1通目のパスワードを送信してください)

※2 郵送にて、申込書・部員調査票を提出

以上の事をしていただきましたら、申し込みの完了となります。

- (3) 申込期限 上記宛に令和5年4月27日(木)までに、お申込下さい。
 尚、不参加校も必ず提出して下さい。

14 個人情報及び肖像権について

上記取り扱いについては、高体連HP「個人情報及び肖像権に係る取り扱いについて」に記載のとおりとする。(別紙参照)

15 表彰 団体・個人とも「4位」まで表彰を行う。

16 取得制限 男子団体上位6校・女子団体上位4校

男子個人各階級上位6名、女個人各階級上位4名は、福岡県大会への出場権を得る。

17 その他

- (1) 柔道衣コントロールは、試合前に一斉に行う。試合場で疑義のある場合は当該審判員が測定、ルールに則り判断(反則負け)する。
- (2) 参加選手は、全日本柔道連盟指定のゼッケンを必ず縫い付けること。
- (3) 試合組み合わせは、顧問会議において抽選し、決定する。
 顧問会議 **令和5年5月9日(火) 13時30分より 若松高校**
- (4) 別紙部員調査用紙を、必ず申し込みと同封して返送して下さい。
- (5) 問題が生じた場合は、専門委員会において審議する。

18 問合せ先

福岡県立北筑高等学校 小堤 大輔 Tel. 093-603-6221

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

福岡県高等学校体育連盟
令和4年4月1日

福岡県高等学校体育連盟は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い
 - ア 大会プログラムに掲載される。
 - イ 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがある。
 - ウ 競技会場外の掲示板等に掲載されることがある。
 - エ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがある。
 - オ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがある。
- (2) 競技結果（記録）等の取り扱い
 - ア 新聞・雑誌及び県高体連等関連ホームページ等で公開されることがある。
 - イ 大会プログラム掲載の個人情報とともに掲載される。
 - ウ 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがある。
- (3) 肖像権に関する取り扱い
 - ア 県高体連及び各競技専門部で認められた報道機関によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び高体連関連ホームページで公開されることがある。
 - イ 県高体連及び各競技専門部で認められた報道機関によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。
- (4) 対応について
 - ア 取得した個人情報を前記利用目的以外に使用されることはありません。
 - イ 参加申込書の提出により、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応する。
なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、県高体連専門部及び当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。
 - ウ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種の委員や補助員等大会関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応する。